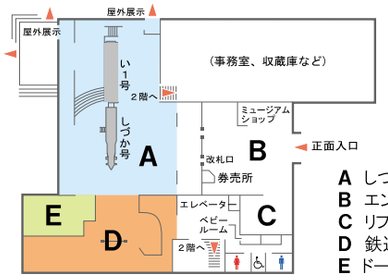
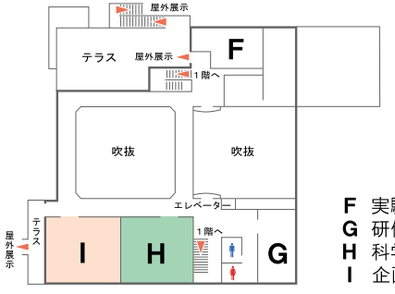
館内のご案内



1F 平面図

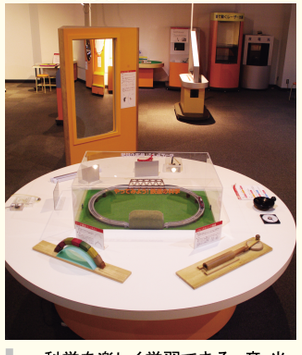
A しづかホール
B エントランスホール
C リファレンスルーム
D 鉄道展示室
E ドームシアター（プラネタリウム）



2F 平面図

F 実験室
G 研修室
H 科学展示室
I 企画展示室

科学展示室 2F



科学を楽しく学習できる、音・光・電気に関する展示をはじめ、鉄道を科学するコーナーもあります。

実験室 2F



科学の不思議さやおもしろさを体験する実験教室を開催しています。開催日はＨＰ等をご覧ください。

企画展示室 2F



歴史・自然・科学などさまざまなテーマの企画展を年に３～４回開催しています。特に地域に関する収蔵資料の公開に力を入れています。

利用案内

●開館時間／午前9時30分～午後5時
●休館日　／毎週火曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始（12月29日～1月3日）
※上記以外に臨時休館する場合があります
●入館料　／中学生以下無料

普通入館料	本館		共通入館料 本館・運河館に入館可	年間パスポート 本館・運河館 いずれも1年間有効
	夏期	冬期		
一般	400円	300円	500円	1,000円
高校生および市内在住の70歳以上の方	200円	150円	250円	500円

■団体利用（20名以上）の方は2割引です
■障害者手帳等をお持ちの方、およびその介護者は無料です
■特別展などの場合には、別途特別料金を設けることがあります
■夏期は概ね4月下旬から11月上旬

交通のご案内



小樽への交通
【JR】札幌駅より快速列車で33分。普通列車で50分。新千歳空港駅より快速列車で75分。
【高速バス】札幌駅前ターミナルより約50分。（中央バス・JRバス共同運行）

関連施設

●**小樽市総合博物館 運河館**（当館より徒歩20分）
〒047-0031　小樽市色内2丁目1番20号　　TEL 0134-22-1258
小樽の歴史、自然について約2000点の資料を展示しています。

小樽市総合博物館 本館

otaru museum

〒047-0041　小樽市手宮1丁目3番6号
TEL 0134-33-2523　FAX 0134-33-2678
http://www.city.otaru.hokkaido.jp/simin/sisetu/museum

小樽市 総合博物館

本館



北海道の鉄道を知る。



科学に驚く。



小樽にまつわるたくさんの発見がここから始まります。



国指定重要文化財
旧手宮鉄道施設

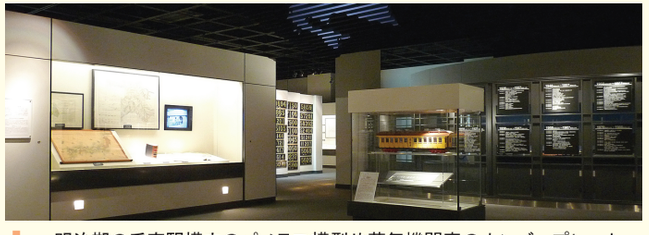
鉄道・科学・歴史館 フロアガイド

しづかホール 1F



総合博物館の館内に入るとまず目を引くのが、北海道近代化の初期に活躍した蒸気機関車「しづか号」です。「しづか号」は、北海道最初の鉄道「幌内鉄道」が明治13(1880)年に誕生した4年後の明治17(1884)年にアメリカのポーター社で製造され、翌年手宮に配置された機関車です。「しづか号」と、その後ろの一等客車「い1号」はとともに、車両内部の見学ができます。

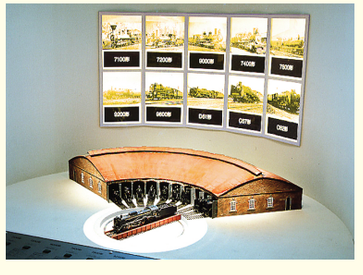
鉄道展示室 1F



明治期の手宮駅構内のパノラマ模型や蒸気機関車のナンバープレート、時刻表、車両模型などの資料を展示。また、明治前期に小樽と内陸の産炭地とのあいだに敷かれた「幌内鉄道」建設に関する展示もあります。

ドームシアター 1F
(プラネタリウム)





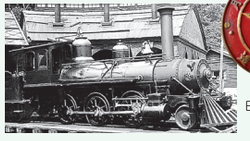
季節の星座や今晩の星空について、生解説で紹介します。他に、トピック性のある話題について映像番組の上映も行っています。上映時間は館内の表示をご覧ください。

7150 (形式7150大勝号)



明治28(1895)年、北海道炭礦(たんこう)鉄道手宮工場で完成。日本製の蒸気機関車としては第2番目に誕生、現在見ることのできる最古の国産蒸気機関車。

7100形(義経号やしづか号)を手本に外国人の指導を受けず日本人の技術で製造されました。(夏期のみ)



明治時代の大勝号

アイアンホース号



北海道で最も古い動態保存の蒸気機関車。館内に展示されている「しづか号」と同じアメリカのポーター社製です。重要文化財の転車台を使った方向転換は必見です。(4月末～10月中旬、不定期に運休日あり)

小樽市総合博物館 場内レイアウト



北海道鉄道開通起点
北海道の鉄道の起点(ゼロ・マイル)を示す標柱がある。北海道の鉄道はこの地点から始まりました。市指定史跡。



手宮洞窟保存館(休館中)
今から約1600年前に刻まれた壁面彫刻が残されています。国指定史跡。

北海道の鉄道の歴史はここ手宮から始まりました。
この地ならではの歴史的遺構の数々が館の内外で、静かに時を語っています。

屋外車両展示

●冬期は屋外の車両の公開はしません



様々な鉄道車両が並ぶホーム

屋外展示場のホームや機関車庫に北海道で活躍した鉄道車両が並んでいます。なつかしい鉄道車両から、普段ではあまり見られない除雪用の車両など多種多様な鉄道車両を展示しています。



マニ30形 現金輸送専用車両



キ600形 ロータリー車



キハ82形 ディーゼル気動車

● 国指定重要文化財 旧手宮鉄道施設 (夏期のみ)

小樽市総合博物館の敷地と周辺では、機関車庫、転車台、貯水槽、危険品庫、擁壁などを見ることができます。明治18(1885)年に竣工した機関車庫3号は、現存する日本最古のレンガ造機関車庫です。



● 蒸気機関車資料館

おもに小樽築港機関区で使用されていた工具・ゲージ類と蒸気機関車の部品を展示。精密に作られた縮尺1/5の蒸気機関車もご覧いただけます。



● 自動車展示館 (夏期のみ)

小樽ゆかりの俳優・石原裕次郎が所有していたロールス・ロイスを展示しています。

